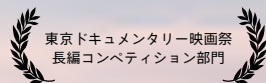


アフリカ諸国やアジアを舞台に、文化人類学者の清水貴夫と農学者の田中樹のフィールドワークから始まるロードムービー。学者としてのまなざしはいつしか撮影者や東京でモニターを見つめる編集者の目線と多重層的に交わり、世界の複合性を織り成す。雄大な自然のロングショットや現地の何気ない生活風景が心地よく流れる。



澤崎賢一監督作品 | 多重層的ドキュメンタリー映画 | 124分/2021年

# #まなざしのかたち

#manazashi

終わらない旅路へと誘う、  
断片的な映像とまなざしの多重層。  
この映画は、新しいコミュニケーションの方法である。

2021年  
12月11日(土)  
14:00~  
@THEATRE E9  
KYOTO  
映像上映!



<https://livingmontage.com/manazashi/>



そこに映り込んでいる世界を積極的に見ようとするところから生まれる創造性が、この映画には賭けられている。

## 多重層的ドキュメンタリー映画『#まなざしのかたち』とは？

旅に魅了されることは、みな少なからずあると思うが、今日において「場所=place」を移動することだけが旅なのではない。私たちは自分たちで撮影・編集したイメージをSNSなどで共有し、日々ネット上のイメージを介して、さまざまな「場所=site」を旅している。

『#まなざしのかたち』は、映像を活かした新しいコミュニケーションの方法を提示する作品である。

アフリカや東南アジアへの旅路を記録した映像を見ながら、あなたがあなた自身の旅を創造していく。そのほじまりを想起させる旅路には、そこに映り込んでいる世界を積極的に見ようとするところから生まれる創造性が賭けられているのだ。

本作では、農学者の田中樹と文化人類学者の清水貴夫の調査地であるタンザニアやケニア、ブルキナファソ、セネガル、ベトナム、日本などにおける人間活動がさまざまな視点から記録されている。加えて、その記録された映像を鑑賞する者の声が多層的に交わり、世界の複合性を織り成している。

この映画は、彼ら研究者の活動を紹介する記録であるとともに、あなたを新たな旅路へと誘引するための時間ともなるだろう。そして、あなたが想起するイメージに「#まなざしのかたち」を付与することで、この映画もまた、別様の可能性へと開かれていく・・・。

『#まなざしのかたち』とは、いつまで経っても完成しきらず、試行錯誤するプロセスを記録した映像の断片で、それらの断片的な映像をどのように見るのか、と考えるプロセスもまた作品の一部であるかのような表現の「場所=site」なのだ。

この映画は、結末へと収斂することのない「人間の生そのもの」に関わる「場所=site」なのである。

「#まなざしのかたち」のハッシュタグの使い方



**監督** 澤崎 賢一 (さわさき・けんいち)

1978年生まれ。アーティスト/映像作家。一般社団法人リビング・モンタージュ代表理事。京都市立芸術大学博士(美術)。ヨーロッパ・アジア・アフリカで、研究者や専門家たちのフィールド調査に同行し、映像/写真メディアの使い方を工夫しながら、他者との関係から新しい発見を生み出すための方法を探求している。また、映像メディアを活かした学際的活用への基盤となるプラットフォーム「暮らしのモンタージュ」を企画・運営する。近作に、フランスの庭師ジル・クレマンのドキュメンタリー映画『動いている庭』(85分、2016年)などがある。



**登場人物** 田中 樹 (たなか・うえる)

1960年生まれ。摂南大学農学部食農ビジネス学科教授(環境農学研究室)。京都大学 博士(農学)。専門は、環境農学、土壌学、地域開発論。アフリカやアジアの在来知から、人びとの暮らしと資源・生態環境の保全が両立するような技術や生業を創り出し、「ヒトも自然も」を可能にする新たな開発パラダイムを探る研究に取り組む。



**登場人物** 清水 貴夫 (しみず・たかお)

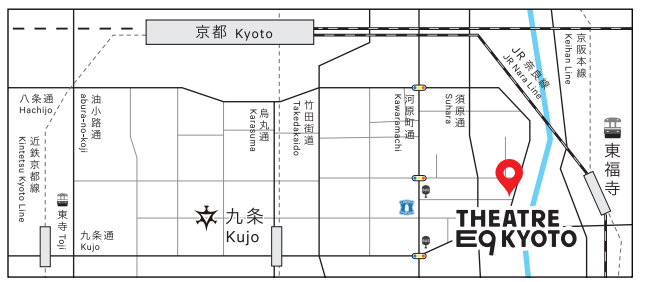
1974年生まれ。京都精華大学国際化学部 准教授。大学生時代からアフリカに通い始める。ラグビーで鍛えた胃を武器に、アフリカ、日本で食べまくっている。グルメ(美食家)×グルマン(大食漢)であるが、好きが高じて『ブルキナファソを喰う! : アフリカ人類学者の西アフリカ食のガイドブック』(あいり出版, 2019)を出版。

時間/制作年：124分/2021年 | 監督・撮影・録音・編集・製作：澤崎 賢一 | 企画・製作：一般社団法人リビング・モンタージュ | 撮影地：ブルキナファソ, タンザニア, ケニア, ベトナム, セネガル, 日本 | 出演：田中 樹, 清水 貴夫, 須田 征志, 宮崎 英寿, Julien Sawadogo (Tilmnenga), Aboudulaye Ouedraogo, Lamin, Zakaria, Hamidou Sawadogo (Imam), Ahamed (Rastafarian), Baay Fall Ndem, Jeremiah Saitabau Tanin, Benedict P. Mapunda, Jacob B. Chadibwa, Oumarou Ouedraogo | コメントリー：Habaco, mon | 撮影：田中 樹, 清水 貴夫, 須田 征志, Lamin, Zakaria | カラーグレーディング：苅谷 昌江 | 音響調整：岡本 遼 | DTPデザイン：和出 伸一 (象灯舎) | 助成：公益財団法人トヨタ財団, 公益財団法人 日本文化藝術財団, 公益財団法人 野村財団, 文化庁「文化芸術活動の継続支援事業」

**日時** 2021年12月11日(土)  
13:30 開場 14:00 上映スタート  
トークイベント・ゲスト  
高橋 悟 (美術家/京都市立芸術大学教授)

**会場** THEATRE E9 KYOTO  
〒601-8013 京都市南区東九条南河原町9-1  
Tel: 075-661-2515(10:00-18:00) | Email: info@askyoto.or.jp

**料金** 一般 1,800円 / 学生 1,300円  
【チケット購入】 <https://askyoto.or.jp/e9/ticket/20211211>  
※ページの最下部に申込みフォームがあります。



JR 京都駅 八条口から徒歩約14分、東福寺駅から徒歩7分、京都市営地下鉄 九条駅から徒歩約11分  
京都市バス 16、84系統「河原町東寺道」より徒歩3分  
京都市バス 16,202,207,208,84,88系統「九条河原町」より徒歩6分

主催：一般社団法人リビング・モンタージュ  
共催：京都精華大学アフリカ・アジア現代文化研究センター  
研究プロジェクト「研究者とフィールドの「あいだ」で映像メディアを活用した新たな創造性」  
助成：令和3年度京都府文化力チャレンジ補助金

暮らしのモンタージュ  
livingmontage.com